

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6436428号  
(P6436428)

(45) 発行日 平成30年12月12日(2018.12.12)

(24) 登録日 平成30年11月22日(2018.11.22)

(51) Int. Cl. F 1  
E O 1 D 22/00 (2006.01) E O 1 D 22/00 B

請求項の数 12 (全 27 頁)

(21) 出願番号	特願2013-270577 (P2013-270577)	(73) 特許権者	304021288
(22) 出願日	平成25年12月26日(2013.12.26)		国立大学法人長岡技術科学大学
(65) 公開番号	特開2015-124552 (P2015-124552A)		新潟県長岡市上富岡町1603-1
(43) 公開日	平成27年7月6日(2015.7.6)	(73) 特許権者	505398941
審査請求日	平成28年11月30日(2016.11.30)		東日本高速道路株式会社
			東京都千代田区霞が関三丁目3番2号
		(73) 特許権者	505398952
			中日本高速道路株式会社
			愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号
		(73) 特許権者	505398963
			西日本高速道路株式会社
			大阪府大阪市北区堂島一丁目6番20号
		(73) 特許権者	507194017
			株式会社高速道路総合技術研究所
			東京都町田市忠生一丁目4番地1
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 鋼橋の補修補強方法及び補強構造体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

鋼橋の鋼桁端部における支点上十字柱に、一方向に配向した強化繊維を含む繊維シートを接着剤で接着して前記支点上十字柱に作用する圧縮力に対する局部座屈耐荷力の回復又は強化を行う鋼橋の補修補強方法であって、

(a) 前記支点上十字柱を構成する支点反力を受ける部材であって、鉛直方向の圧縮力を受ける、

(i) 支点上補剛材及び支点上腹板、又は、

(i i) 支点上腹板、

における施工対象部分に対して下地処理する工程と、

(b) 前記下地処理された前記鉛直方向の圧縮力を受ける、

(i) 支点上補剛材及び支点上腹板、又は、

(i i) 支点上腹板、

の表面にポリウレア樹脂パテ材によりパテ層を形成する工程と、

(c) 前記パテ層の上に、前記一方向に配向した強化繊維の繊維配向方向が鉛直配向方向となるようにして、少なくとも1層の前記繊維シートを接着剤で接着して繊維強化樹脂層を形成する工程と、

を有することを特徴とする鋼橋の補修補強方法。

【請求項2】

前記支点上腹板は、前記支点上補剛材の中心から腹板厚の1.2倍の範囲の腹板であるこ